



宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.12



平成24年7月

石巻市南境地区と雄勝地区に仮診療所が完成しました

石巻市内で最大の仮設住宅がある石巻市南境地区に石巻市立病院開成仮診療所が完成し、5月30日に開所式が行われ、31日から診療を開始しています。この診療所は小松製作所が施設を無償提供し、医師会や県医療整備課など多くの機関、団体の支援を受けて開院となりました。所長の長医師は、阪神大震災の際に神戸市の仮設住宅で医療支援を行った経験もあり、開所式の挨拶では「この病院がかかりつけ医の役割を果たし、これまで医療機関にかかることのできなかった方々にも医療を提供したい。また地域全体の保健福祉、高齢化対策、地域包括ケアの底上げをしたい」と抱負を語りました。【開成仮診療所所長 長医師】



連絡先：0225-23-3200

石巻市雄勝地区では、6月4日に石巻市雄勝歯科診療所の開所式が行われ、5日から診療を開始しています。

所長の河瀬歯科医師は、「白衣を着ないスタイルで、地元の方々からも聞きたいことが聞ける身近な存在になれる診療所を目指したい」と挨拶がありました。この診療所は石巻歯科医師会、アメリカズ、難民を助ける会や県医療整備課などの支援を受け、開院となりました。

診療台に横になった状態で天井に設置されたテレビが見られるなど、患者へ配慮した設備等が設置されています。



雄勝歯科診療所所長
河瀬歯科医師

連絡先：0225-58-3811

石巻市社会福祉協議会の活動について

石巻市ささえあい総括センター

石巻市社会福祉協議会は石巻市から委託を受けて、「ささえあい総括センター」と13か所の「ささえあい拠点センター」を運営しています。

総括センターでは、各拠点センターの総合的な支援や取りまとめ、仮設住宅でのイベント調整や自治会連合会活動支援などを中心に行っています。普段から各拠点センターの活動報告を受けており、石巻市や警察署から仮設入居者の安否確認があった場合の情報源としても信頼されているそうです。

北川所長さんは、「現在活動しているボランティアが引きあげた後にそれを上手く地元住民に引き継いでいけるかが課題。地域コミュニティ作りの

支援も大事と思う。5年後10年後を見据えた、自立への支援を考えた活動をしていきたい。」と話されました。

石巻市ささえあい 総括センター

- ◆石巻市不動町 2-18
- ◆TEL0225-24-8502

石巻市災害ボランティアセンター

石巻市災害ボランティアセンターは、昨年12月、石巻専修大学から石巻市不動町に事務局を移し、業務を行っています。ボランティア派遣の依頼数は減りましたが、住宅の建て直しに伴うガレキ撤去等の作業依頼等が現在もあり、主に県外から来るボランティアとの調整作業を行っています。依頼内容のうち、ボランティアのみで対応が困難な場合は、NPOやNGOと協力しながら要望に対応するなど、震災以降、被災地復興のための活動を続けています。

【ボランティアセンタースタッフの皆さん】



石巻市災害 ボランティアセンター

- ◆石巻市不動町 2-16-10 (旧明友館内)
- ◆TEL0225-23-3911 (代)

みやぎ心のケアセンター活動紹介

4月に開所したみやぎ心のケアセンター石巻地域センターでは、医師、精神保健福祉士、保健師や心理士などが、支援者支援、住民への支援を中心に活動を行っています。

支援者支援として、市町保健師などにアドバイスを行ったり、仮設住宅訪問支援員への支援、その他市町に専門職の派遣も行っています。また、市町職員や合同庁舎の職員の方の相談も受け付けているそうです。住民への支援では石巻市の民間賃貸仮設住宅約230世帯を受け持ち、これまで85件訪問を行いました。今後も訪問等を行い、支援を続けていくそうです。

樹神(こだま)センター長は「アルコール問題にも力を入れていきたい。アルコールの問題を抱えている人へは、支援者が1人で抱え込まず、みんなで包み込んで支援することが大事。連携し、必要時は医療につなぐなどして、みんなで包んでいきたい。」など意気込みを語りました。

今後は、仙台の基幹センターと協力して支援者や住民向け研修会の企画・開催や、住民の方に対して広報誌やホームページを通して情報発信や啓発を行っていく予定です。



石巻地域センター長 樹神医師と
地域支援課長樋口さん

○ 派遣職員紹介 ○

4月から1年間、精神科の認定看護師内田朋子さんが石巻地域センターから派遣され、当事務所母子・障害班に勤務しています。主な仕事は、精神関係の相談業務や、保健師と一緒に家庭訪問などを行っています。1年間よろしくお願いします。



この時期の体調管理について

石巻保健所長

奥田 光崇

震災後2回目の夏がやってきます。まだまだ厳しい状況は続きますが、去年の今頃と比べてみれば、着実な復興も感じることができると思います。夏に向かっての健康上の注意をまとめてみました。予防できる病気は確実に予防し、元気に夏を乗り切ってください。

熱中症

に注意しましょう！



・家の中でも熱中症は起こります。室内の風通しを良くしましょう。暑さやのどの渇きを感じにくい場合もあります。のどが渇く前にスポーツドリンクなどでこまめに水分補給しましょう。

食中毒

に注意しましょう！



・食中毒の増える季節でもあります。加熱が不十分な肉を食べると、カンピロバクターやO157などによる食中毒を引き起こすことがあります。肉は中心部まで十分加熱しましょう。生肉や魚を扱ったまな板や包丁は必ず洗って熱湯消毒しましょう。

感染症

に注意しましょう！



・下痢・嘔吐の「感染性胃腸炎」が多く発生しています。どの感染症も予防の基本は同じ。こまめに手洗いして、感染症を寄せ付けないようにしましょう。東部保健福祉事務所(石巻保健所)ではイラスト満載の「感染症かわら版」を発行しています。仮設住宅集会所や当所ホームページでご覧ください。

◆ 感染症かわら版 掲載内容 ◆

風疹、つつが虫病、咽頭結膜熱(プール熱)、A群溶血性レンサ球菌(溶連菌)咽頭炎、日本脳炎、ポリオ、はしか(麻しん)の予防接種、おう吐物の処理、こども予防接種週間、消毒剤の使い分け(お部屋編)、咳エチケット、消毒用アルコールの使い方、正しい手洗い、マスクの正しいつけかた、ノロウイルスのサイクル、インフルエンザ、感染性胃腸炎、破傷風等

編集後記

梅雨が終われば、もうすぐそこに夏がやってきます。今月号の記事にもありますが、読者の皆様も熱中症など健康管理には十分気をつけてお過ごしください。また、この復興支援ニュースの発行を開始してから、ちょうど1年が経過しました。当事務所では、このニュースで震災復興に向けた活動や取り組みを紹介しています。情報などがありましたら、右記までご連絡ください！

問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所
企画総務班 企画調整グループ
担当:八木田、大崎、佐藤
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>
Tel: 0225-95-1416(代表)
Fax: 0225-94-8982
石巻市東中里1丁目4番32号